

No.264

1985年7月 第1号発行

2007 June

平成19年

6月 波紋

PUBUSHER: 森松株式会社
EDITOR: 小坂美香



50周年記念

2007年モーリンググループ 慰安旅行

今年はオーストラリア(ケアンズ)と北海道の2グループに分かれ、以下の日程で開催

【ケアンズコース】

6月15日(金)~19日(火)

●ボタニックガーデン、ケアンズ・トロピカル・ズーなどを観光

【北海道コース】

6月15日(金)~17日(日)

●旭山動物園、北海道伝統美術工芸村、美瑛、ファーム富田、小樽などを観光



「まず基本から」

社長 森 直樹

先日、岐阜県の企業様の社内研修に参加させていただきました。二日間のうちの半分は民家の補修作業、また半分は勉強会です。一年半前にも参加したことがある研修でしたが、前回とは違う発見が多々ありました。

まずこの研修は若手社員が中心となって運営されており、作業の段取りから現場における技術指導まで、リーダーは現場をこまめに回り、声掛けをしていきます。そして勉強会では、社員さんひとりひとりが自信に溢れ、ハキハキとした態度で発言し、意見を述べています。世間では最近の若い人は云々と言われることもありますが、私の目の前にいた若者達は、間違いなくこれからのより良い社会を作っていくには、無くてはならない人たちだと感じました。

では一体、どのようにしてこちらの社員さん達が生き生きと働いているかと考えてみますと、基盤となるものは同社の清掃活動だと私は考えます。この会社では社長から社員まで、早朝より自社の清掃を行なっています。また今回の研修は毎月開催、年一回のペースで全社員が交替で参加します。掃除が出来なくていつまでたっても高度なことが成し遂げられるでしょうか。また整理整頓、清掃が行き届いた環境があれば、精神的にも、効率面でもよりよい仕事が出来ます。何事も基本が大切と感じた次第です。

弊社でも毎日の清掃活動を行っておりますが、そこから一歩進めて「5S活動、また社内施設の改善活動と発展させていきたい」と考えております。また同社の研修を体験してもらったことも考えております。重要なのは自ら手を動かし、行動することです。そういうことにより多くの「気付き」が生まれ、よりよい人間・よりよい会社に変わっていくのです。

naoki@morimatsu.net



2007年 6月

の予定

5/31日(金) 会長・社長
台湾(台北・高雄)出張(6/4まで)



30日(土)	23日(土)	22日(金)	20日(水)	16日(土)	15日(金)	11日(月)	9日(土)	2日(土)
第五土曜日休み	大見延子さん誕生日	CS(顧客満足)向上会議 経営会議 生産会議	モーリンググループ決算	大橋康成さん誕生日 第三土曜日休み	50周年慰安旅行 (北海道17日まで・ケアンズ19日まで)	誕生日会(5・6月生まれの方)	第二土曜日休み	第二土曜日休み



2007年

下半期カレンダー

〈7月~12月〉

●印が休業日です。

7 July

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

8 August

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

9 September

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29

10 October

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

11 November

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28			

12 December

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29

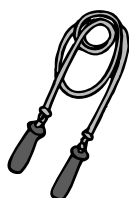
「ロッキーよ 永遠に」

松井宣和 製造部



先日、映画シルヴェスター・スタロイン主演ロッキー・ザ・ファイナルを観賞してきました。今回でロッキー6作品目です。はじめ撮影開始と聞いたときスタロインはたしか60歳なのにまだやるのかと思いました。脚本演出はもちろん演技指導までして...

あまり期待をせずに鑑賞しましたが、内容はあまり言えませんがプロボクサーを引退しても完全燃焼できない自分というあつて現役復帰して...



新入社員紹介

名前 解 昆 年齢 26才 勤務地 要工場

私は解昆（カイコン）と申します。

中国保定市（北京近郊）の出身です。2001年9月に来日し、今年の3月に明美文化服装専門学校を修了し、4月1日から森松産業株式会社に入社することになりました。

日本滞在6年になりますが、毎日が学業（愛知淑徳大学留学生別課程の明美文化服装専門学校を経て）と中華料理店でのアルバイトで、よくよく考えてみると日本にいるのに中国語を頻繁に使っていた為、今になり後悔しています。

ただ、会社訪問及び現場研修をさせて頂き中国人に対しての接し方が違う事や作業内容に対しての説明及び手順の指導の仕方が今まで聞いた事も体験した事もなく新鮮身を感じています。毎日が勉強と思って行動し森松に貢献して行きたいと思えます。本当に感謝しています。これから森松の一員として頑張っていくので皆様どうぞ宜しくお願いします。

（特に会話・文章での間違い等御座いましたらご指導の程宜しくお願い致します。）

- 趣味：旅行、映画鑑賞
- 特技：卓球、料理



読後感想文

世界の日本人ジョーク集

早坂 隆・著（中央公論新社）

成瀬勝英（配送部）

情報社会と言われる現代、世界感も随分狭くなった気がします。本書を読む限り日本という国が、かつて着物を着てちょんまげをした男集や芸者スタイルが日本女性の正装であるかの様な時代錯誤なイメージは先進国には無いようですが、実像としての日本人の情報が伝われば伝わる程、外国人には奇妙に観える様で、こちら側の視点で考えると何が可笑しいの?と思える内容のジョークも有る。勤勉・実直・曖昧・金持ち・集団行動・英語苦手・高品質・改善・過労死・長時間労働・経済大国第2位・ずる賢い・社会主義・長寿等と日本人にまつわるジョークのネタを並べてみてもリアルな情報が元々有ることは伺い知れますが、取り分けハイテク（電子機械・自動車）分野に置いては羨望の眼差しを向ける国や（貧しい）アニメーションの海外進出により、（日本人の生活ぶりが解かる）等により日本に憧れを持つ外国人も珍しくないそうです。（アニメの65%は日本製とか？）日本人は働く事が大好きな国民と言う観念は世界に共通した認識として有る様ですが、それ自体、外国では理解不明な事なようで、あれだけ働けば（過労死）我々の国だって日本並みの水準になると思っている国も有る。虚像・実像（外と中）では見える視点もおおのずと違うものですが、外側から見た日本という国はかつてのアメリカを観る日本人のように豊かな国に見えるのでしょうかね

短いジョークを紹介

- ◎ バリのブランド店（その店の売上げ一覧）
 - ※日本への輸出…45% ※日本人団体旅行者が購入…55%
- ◎ 中国人の本音

「日本社会など根っこから腐っている。しかし、なんといい匂いがするのだろうか」以上、勉強になりました。



「東京オフィス」1周年

黒松康郎（東京オフィス）



この4月にこの汐留に来て早くも1年経ちました。そして私も森松に入社してちょうど10年です。この汐留に来る前は埼玉の草加市で自宅兼営業所という形態でやっていたのが懐かしいです。

昨年に堀江さんが入社して、今年の5月に李さんが加わりました。現在3人体制。営業所（東京オフィス）という形態が整いつつあります。平均年齢は33歳。名古屋本社よりもだいたい若いかな。お客様から当社に自由に来てくれるようになったのはありがたい事です。仕事以外の悩みも増えたのも良い経験かなと思います。これから新しく加わっていく人たちにも将来「黒松さんがいたからここまで森松の東京は大きくなった」と言われるようになるのが夢でもあったりします。

さて、この場所の自慢できる所を数点。とにかくオシャレです。イタリア街だけあって街並みも少し違う、食べ物屋さんもコンビニも違う。日本テレビも近いです。芸人にも会える。夜中にテレビやプロモーションビデオの撮影もやっている。最近の楽しみは、出社前に朝6時30分の日テレのズームイン朝に映ろうとして映ります。撮影の角度によってはたまに全国区のテレビ番組に映っています。多分テレビは実物よりも大つて見えるので私と思えないかも知れません。（本当はもっと痩せている）時間があつたら見て実物と比べて楽しんでください。もう1つ、ズームイン朝のキャクターの着ぐるみが2匹います。（フルとピンク）最近そのピンクの方と仲良くなったのか、遠くから手を振りあつています。投げキスマししてくれます。それがうれしい。ただ中に入っている人と会うこともないと思えますが、女性であつてほしいなとも思っています。

こんな出会いもあり、いろいろな人との出会いも自慢できる事です。そのうちテレビの撮影で「このオフィスを使わせてください」と来てくれないかな。来た時は波紋特別号を出します。その時をお楽しみに。

「我々は・・・」

加藤雅昭（営業部）



ここに1冊の本があります。地球誕生45億年…現在45ページ目…

先日本屋で「不都合な真実」という本を見ました。もうご存知の方も多いと思いますが、アメリカ元副大統領アル・ゴア氏が講演され、映画化されたもの本でした。

地球の温暖化、これは化石燃料を燃やす際に出る二酸化炭素が主な原因です。今年の冬は雪が少なかったよな、冬は暖かく、夏には巨大なハリケーン、自然破壊、これは政治的なものではなく、人類のモラルが必要と訴えています。日本はまだ被害は少ないですが、海面が上がり、沈みかけている島々、消え行く水河、砂漠の巨大化…隣の国では砂漠化が進んでいるのにもかわらず環境に対してもつと配慮してはと言われると、わが国の発展を阻害するのかが！という発言…本音に人間としてのモラルが問われます。

また食物についても、元食品添加物の会社の方が書かれた本がありますが、多分これを読んだら現在の食物の大部分が食べられなくなるでしょう。この食生活が、我々の子孫におおきなダメージを与えることになってしまうのでは？今こそ人として、経済発展より環境保護を考えていかなければ地球から見放されてしまいます。

…ここに1冊の本があります。題は仮に「誕生から終末まで」地球誕生45億年…現在45ページ目…この本は今の予定では90ページには太陽が内部の水素を使い果たし、激しい変動に見舞われ、結局、地球も完全に破壊されてしまう。そしておそろしく、その後に惑星状星雲ができ、この本は終わります。できればその前の行には人類は第二の地球に移住と書かれていたと思います。しかしこのままでは45ページはこのような文になりそうです。人類誕生…そして次の行には人類滅亡…そうならないよう我々は今こそ考えて、人類の生きゆく道を決定しなければならぬと思います。

「節約」

西垣浩司（製造部）



先日家族にて花市場へ行ってきました。きっかけは、連休に何処かへ連れて行って子供にせがまれ、ネット検索、名古屋近郊、観光にて見てみるとあんな所にこんな物といういろいろで来た為、上の子が花の写真が撮りたいからと言う事で目的の地をなはなの里へ。（花まわり開催中です）着くや早々カメラを片手にあちらこちらと、気付くと下の子が私の携帯で色々撮りマイピクチャのホルダーの中は花だらけ…ただど良く見ると私達から見ると違う視点とどう見るとどう消去するのが勿体無く感じ、普段の生活の中で違った視点から見るとどう物事をとらえられるか考えて行動して見たいなと気がきました。反省。

その後園内は連休のせいかなごみになつてしまい、金券を使用したのち園を出て隣接している花市場（無料）の売店へ行つて見ると花から地元の野菜までいろいろあり、妻と子供は買い物、私は軽食コーナーでビールと飛騨団子で満足。次回は木曾三川公園経由の花市場で家族サービス（入園料もかからず財布にやさしいコースかな？）その内モーターグループによる観光マップができるというのにな（人それぞれ楽しみ方、計画の立て方等の視点が参考にと）…

